

お互いを尊重して、みんなが幸せに生活できるまちづくり



男女共同参画推進懇話会が**意見書**を提出

男女共同参画だより

メツセージ

問い合わせ先
男女共同参画推進課
TEL(36)0048
FAX(36)0032
男女共同参画推進センター「ゆい」
TEL(36)0250
FAX(36)0269

宗像市男女共同参画推進懇話会（喜多加美代会長）が、「宗像市男女共同参画プラン（参画プラン）」に掲げられた事業に対し、市がどのように取り組んだのかを審議。その結果をまとめた意見書を8月23日、谷井博美市長に提出しました。

意見書では、「参画プランの進行管理と評価」

「男女共同参画の視点に立った防災計画などの見直し」「地域の防犯意識」「人権啓発と男女共同参画意識の推進」を市へ提言。

市では今後、同懇話会の意見を尊重しながら、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを実施していきます。

意見1

参画プランの進行管理と評価

平成23年4月から第2次参画プランがスタートしました。これまで以上に参画プランを推進し、適切な進行管理を実施する必要があります。

進行管理を強化するためには、①男女共同参画の視点を明確にすること②具体的な事業目標を設定して事業展開を図ること③課題や今後の取り組みを整理して自己評価を実施することが必要です。

男女共同参画に対する市職員の意識向上や男女共同参画の意識を持って参画プランを推進することが重要です。



谷井市長（左）に意見書を手渡す喜多会長

意見2

男女共同参画の視点に立った防災計画などの見直し

今回の東日本大震災は、想像をはるかに超える災害となりました。災害時には、市民の生命や財産などの保護が重要ですが、避難所生活では、避難者がストレスをためないよう精神面で配慮することも必要です。

市の防災計画や災害対策マニュアルを見直す際は、着替えやトイレなど個人的に使用できる場所を確保するなど、女性の立場や視点に配慮することが大切です。

意見3

地域の防犯意識

警察やコミュニティ運営協議会、学校などの関係機関と連携した防犯意識向上のための啓発活動は評価できます。

また、地域ボランティアによる子どもの見守り活動は、女性や子どもが被害に遭う犯罪の抑止にとても効果があります。情報の共有や迅速な対策のために、関係機関と連携して啓発活動に取り組むことが重要です。

意見4

人権啓発と男女共同参画意識の推進

新たに、小学校4校で啓発指導員による人権教

育を実施したように、今後も市内全小・中学校で人権教育に取り組み、子どもたちに人権尊重や男女平等の精神を伝えていくことが大切です。

また、人権と男女共同参画の社会づくりには、一人ひとりの人権を尊重し、性別にとらわれず個性と能力を発揮できる仕組みが大切です。市民一人ひとりの意識向上のため、啓発活動に努めることが重要です。

まずは市職員が理解を深めることから（会談内容）

喜多会長

参画プランの実施報告の中で、男女共同参画の事業としてどう取り組まれているのかが分かりにくいものがあつたので、本年度は進行管理の内容を工夫してもらいました。男女共同参画をどのよう

に推進するのかという視点を明確にして作成していますので、庁内での推進をお願いします。

谷井市長

参画プランの推進には適切な進行管理が大切ですが、事業の実施には関係課で意識の違いがあるようです。まずは市職員の意識が大事です。市職員が男女共同参画に対する理解を深めること

世界を感じよう

このコーナーでは、「男女共同参画」を切り口に日本と世界を比較し、さまざまな情報を伝えていきます。

世界を感じよう

子どもや孫との付き合い方 ～国際比較編～

★いつも一緒に生活したい？ それとも、時々会うのがいい？

表1は、各国で「老後での子どもや孫との付き合い方」について調査した結果です。

表1 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果（2010年度内閣府発表）

老後での子どもや孫との付き合い方	日本	韓国	アメリカ	ドイツ	スウェーデン
①いつも一緒に生活する	33.1%	24.9%	12.6%	15.9%	3.7%
②時々会って食事や会話を	46.8%	55.0%	66.5%	65.4%	79.7%
③たまに会話を	11.2%	14.6%	16.6%	16.3%	13.2%
④全く付き合わずに生活	1.2%	1.4%	0.5%	-	0.3%
⑤わからない	7.6%	4.1%	3.8%	2.3%	3.1%

5カ国とも、「②時々会って食事や会話を」割合が、一番高くなっています。日本と韓国では、1980年の調査開始以来、一番割合が高かった「①いつも一緒に生活する」が年々減少し、「②時々会って食事や会話を」が増えています（日本では2005年に②が①を上回りました）。三世同居が減るなど、ライフスタイルの変化と共に価値観の変化も見られるようです。比較的、東アジアでは「同居志向」、欧米では「別居志向」という特徴も見られます。

子どもや孫との付き合い方の理想形は、時代や国、人によってそれぞれ違うようです。みなさんの理想は、どんな形ですか？

相談情報 誰でも相談できます

*予約は男女共同参画推進センター ☎(36)0250まで

就業相談 *要事前予約 就職に関する相談を受け付けます。職業あつせんはしていません	毎月 第3水曜日	10:00~12:00
法律相談 *要事前予約 女性の弁護士が、離婚など女性を取り巻く問題の相談を受け付けます	毎月 第3火曜日	13:00~16:00
こころと生き方の相談 *要事前予約 家庭や夫婦間での心配ごと相談などを受け付けます	第1~第4 木曜日	13:00~17:00
むなかたホットライン (電話相談) 専門カウンセラーが、心配ごと相談などを受け付けます	毎週 月・水曜日 (祝日を除く)	10:00~17:00

☎093(561)5737